

(4) 本時の展開

(1) 本時の目標

がまくんとかえるくんの行動や思いを話し合い、お互いに相手を思っていることに気づくことができる。

(2) 本時の評価規準

【思】文章を読んで、思ったことや考えたことを共有し、一人ひとりの考えの相違点に気づき、自分の考えを書くことができている。

時間	学習活動・予想される児童の反応	☆指導上の留意点 ◎支援	評価規準（評価方法）
5分 課題把握	<p>○前時までの内容をふり返る。</p> <p>○学習課題を知る。</p> <p>㊦ ふたりのしあわせな気持ちについて考えよう。</p>	<p>☆前時までに学習してきたかえるくんが書いた手紙について想起させ、がまくんの気持ちを確認させる。</p> <p>◎前時までのノートや掲示物をふり返りに活用する。</p> <p>☆めあてを書き、本時の学習課題であることを意識させ、見通しを立たせる。</p>	
10分 自力解決	<p>○本時の音読をする。</p> <p>「ふたりとも、とてもしあわせな気持ちで、そこにすわっていました。」の文について考える。</p> <p>○がまくんのしあわせな気持ちについて考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・はじめて手紙がくるからうれしい。 ・かえるくん手紙を書いてくれて、ありがとう。 ・かえるくんが友だちでよかった。 <p>○かえるくんのしあわせな気持ちについて考えて文章に書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・がまくんがうれしそうにしてくれてしあわせだ。 ・がまくんが元気になってよかった。 ・がまくんと一緒にいられてしあわせだ。 	<p>☆本時の挿絵からふたりが何をしているのか、文章から見つける。</p> <p>☆「ふたりとも」はがまくんとかえるくんであることを確認する。</p> <p>本場面は二人のセリフがないので、考えるよう指導する。</p> <p>◎がまくんは手紙をもらえるという想像しやすい出来事がある。しかしかえるくんはそれがないのに、なぜしあわせなのか、と考えさせる。</p>	<p>【思】場面の様子や表現から、登場人物の気持ちについて考えを持っている。（記述）</p>
20分 集団解決	<p>○ペアで話し合う。</p> <p>相手の意見を聞き、自分と同じ・似ている・違うなど感想を伝える。</p> <p>次の全体での話し合いにつながるよう、励ます言葉になるようにする。</p> <p>○全体で話し合う。</p> <p>「がまくんのしあわせが、うれしいというかえるくんの思いに気づくことができる。」</p> <p>○音読をする。</p>	<p>☆自分の意見を相手に伝える。相手の意見を聞き、自分と同じ、似ている、違うなどに気づき、その面白さに気づかせ、考えを広げる。</p> <p>◎自分の意見をうまくまとめられない時は、友だちの意見を聞かせてもらいたいことを自分で言うように伝える。自分の考えに近いものを真似してもいいことを伝える。</p> <p>☆児童から出た意見から、かえるくんのがまくんに対する思いを読み取っていかせ、主題に近づかせる。</p> <p>◎「ふたりとも、とてもしあわせな気持ち」がわかる言葉やキーワードを板書する。補助発問も適宜入れる。</p>	<p>【主】話し合いの中で、一人ひとりの感じ方や考え方に違いがあることに気づくことができる。（発表・記述）</p>
10分 ふり返り	<p>○学習をふり返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・友だちのがまくんがしあわせそうに手紙をまっているのを見て、かえるくんもしあわせな気持ちになったことがわかりました。（B） ・がまくんは、かえるくんに「ぼくのために手紙を書いてくれてありがとう。」と思っているし、かえるくんはがまくんが悲しそうだから手紙を書いてあげているから二人は相手を思いあっていると思いました。（A） 	<p>☆ふり返りの時間を設ける。</p> <p>☆もう一度本時のめあてを確認する。話し合いを通して感じたこと、わかったことを書くようにする。</p> <p>◎ふり返りを書くことに苦手意識のある児童には、自分の考えをまとめる手立てとして、板書を参考・活用させながら支援を行う。</p>	<p>【思】話し合いを通して、他者との違いに気づいたことをふまえて、自分の考えを書くことができている。（記述）</p>